

平成28年度第3回松山地域協議会会議録

日 時 平成28年10月25日(火) 午後1時25分～3時15分
場 所 松嶺コミュニティセンター
出席委員 14名
1号委員 平 向 與志雄、五十嵐 典 子、齋 藤 吉 男、日下部 美喜子、
後 藤 吉 史、小 松 ノリ子、三 浦 芳 和、佐 藤 玲 子、
小 田 和 夫、荘 司 邦、村 山 安 子、佐 藤 豊 和
2号委員 小 野 與 一
3号委員 日 野 健 吾
欠席委員 1名
1号委員 後 藤 俊
酒田市出席者 松山総合支所長兼地域振興課長 樋 渡 由
建設産業課長 石 塚 裕
地域振興課長補佐 柿 崎 弘 志
地域振興課長補佐兼地域振興係長 出 嶋 亨
地域振興課地域振興主査 石 川 亮 一
傍 聴 者 なし

【議事日程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名人の指名
- 4 議 事

【協議事項】

- (1) 平成29年度地域づくり予算の概要について
- (2) その他
- 5 その他
- 6 閉 会

1 開 会

支 所 長 ただいまから平成28年度第3回松山地域協議会を開催いたします。

本日は、後藤 俊委員が欠席されております。本日の会議につきましては、概ね1時間30分を目途としておりますのでよろしくお願いいたします。それでは小田会長よりご挨拶をお願いいたします。

2 会長あいさつ

小 田 会 長 収穫の秋で何かと忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。合併して10年の節目を通り越して、精査するものは精査する、時代に即した新しい事業があれば検討することが必要となってきました。いろいろな課題があるかどうかは思いますが、今回は行政の次年度の地域づくり予算についての協議です。活発なご意見を期待して挨拶いたします。

3 議事録署名人の選出

支 所 長 議事録署名人につきましては、酒田市地域協議会設置条例施行規則第5条第2項及び申し合わせ事項により、佐藤 豊和 委員 をお願いいたします。また、会議の議長につきましては、酒田市地域協議会設置条例第6条第2項の規定により、小田会長をお願いいたします。

4 議 事

小 田 会 長 それでは議事に入ります。協議事項「(1)平成29年度地域づくり予算の概要について」、事務局より説明をお願いします。

支 所 長 ～資料に基づき地域振興課所管分 (No.1～No.8) について説明～

建設産業課長 ～資料に基づき地域振興課所管分 (No.9～No.12) について説明～

小 田 会 長 ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。

小 松 委 員 松山地域振興事業の魅力アップセミナーについて、少子化対策のための事業で、独身男性の魅力を高めるためのセミナーとなっていますが、女性の方はどうなっているのでしょうか。婿がいなくて困っている独身女性も結構いると思います。他の地域から女性を松山に来させるといった狙いがあるのですが、松山の婿取り女性も一緒にしたら如何でしょうか。

支 所 長 今年の事業はこれから行いますが、昨年度は地元男性の研修に特化して考えさせてもらいました。スタッフの中には地元女性も含まれていますが、婚活イベントは他町村から女性を呼んでいます。今年も同様のやり方を考えて

います。来年度については、婚活に特化せず、地域の青年団のまとまりというものも考えて事業を行っていきたいと思っています。酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議で、市の人口減少を抑制するため、5年の間に出生数760人を確保する事業を立ち上げるといった指示も出されていますので、事業のやり方は今後検討していきたいと考えています。

小 松 委 員 お婿さんがいなくて困っていると女性を対象にしたイベントも考えてほしいということです。どのような手法を取ったら良いのか悩ましいところですが、その工夫を事業実施団体に考えていただきたいと思います。

小 野 委 員 1点目、昨年までの過疎地域農商工連携支援事業が松山地域観光物産事業に盛り込まれたのかお伺いしたい。2点目、宮城松山35周年で当方がお迎えすることになりますが、そのスポーツ交流の持ち方についてわかればもう少し詳しく教えていただきたい。3点目、松山芸術祭への支援は28年度も行ってきた内容なのかを確認したい。4点目、ふるさと交流促進事業の近年の状況はどうなのか。以上、お願いします。

建設産業課長 1点目の過疎地域農商工連携支援事業について、今までやった内容が見えないというところでのお尋ねでしたが、その中に特産品開発研究会への負担金と松山農産物加工所の調理施設の委託料の分がその事業のメニューになっていました。29年度は農産物加工所の施設管理委託料部分については新たに事業を立ち上げましたが、施設管理委託料だけでは重点事業としてあげるものではないとの判断から説明を省かせていただいたものです。

支 所 長 2点目の35周年記念事業について、これまでの宮城県大崎市との協議内容をお話したいと思います。日程は来年10月7日、8日を予定しています。スポーツ交流については、グラウンドゴルフ、シニアソフトボール、スポ少関係については、未定の部分はありますがサッカーを考えています。また、芸文協の展示関係については今後の打合せになります。翌日は前回当方で行ったスポレク祭か地域内のウォーキングを実施して松山地域を知っていただき、昼食にいも煮を食べて解散を考えています。なお、宮城松山には小学校が1校だけですが、当地域も来年度に小学校が統合になることで1校だけになることから、この交流を小学校の学年行事に位置付け、手始めに来年、宮城松山の来年小学5年生になる児童からこちらに来ていただきドッジボールなど行い、次の年は当方から同じく5年生になる児童を当方から派遣するといった形での相互交流の実現を目指しています。3点目の芸術祭の件についてはずっと前から地域振興予算で印刷費の面倒を見ています。4点目の

ふるさと会については、例年5月の第4日曜日に当方から物産を持って東京松山会と交流しております。この場で酒田市が如何に頑張っているかの宣伝を行っています。

村山委員 松山の宝推進事業について、城下町松山にふさわしい事業を展開していただき大変嬉しく、そして敬意を表します。松山に限定せず、鶴岡、山形まで広域的に地域の全国史を探訪する、大規模かつ本格的な講座で本当に素晴らしいと思います。ただ私自身、この講座に強い関心を持っていましたが、原則7講座に出席することが条件となっていたため出席が難しく今年度は断念させていただきました。今年度はガイド養成が事業内容となっています。もし差し支えなければ、今年度の講座について定員は20名程度となっていますが、地域内で何名、地域外から何名受講しているのかお伺いします。

支所長 地域内の方が5、6名であとは地域外からの参加です。

村山委員 定員の20名は満たしていますか。

支所長 20名は超えています。

村山委員 それは良かったです。この事業は29年度も継続しますか。

支所長 来年度のメインはガイド養成です。名物ガイドの養成ができればと考えています。また、外航クルーズ船が酒田に寄港するので、松山での観光の一環として甲冑着付け者の養成も図りたいと考えています。城歩き指南所については、観光客が当地域に来てもお金を落としていかないといった現状を踏まえ、お菓子屋や豆腐屋さんに幟を立てて来訪者に注目していただくとともに観光案内所の役割も果たしてもらおうと考えています。

その他、松山の歴史や地域資産を紹介する学童向け座学プログラムを開発や御朱印ウォークが人気を博したことから、来訪者向けの記念スタンプの作成も考えています。

村山委員 松山伝承館や阿部記念館にいらっしゃる人たちから、松山の歴史がわかる人がいないといった苦情がよく聞かれます。松山に住んでいるにも関わらず松山の歴史について知らない人が多いため、聞かれても説明できる人がいない。昔は郷土史家みたいな先生がいらっしゃったが、現在はあまりいないということで失望している声が聞かれます。未来の構築は過去の歴史を学ぶことから始まるので松山を絶やさないためにも皆が歴史を知っておく必要があると考えます。

小田会長 ご提言ありがとうございます。私は観光ボランティアを行っていますが、歴史的なものに興味を持っている人がいれば持ってない人もいます、子どもた

ちが資料館に訪れたとき、歴史的な殿様の話をしてもほとんど要領を得なかったもので、得意の鉄砲の話をし、実際に鉄砲を持たせたりもさせたのですが、これにはかなり興味を持ったようでした。また以前、東根市のさくらんぼのメーカー34名が当地域に訪れた際、「江戸の名残、文化がコンパクトに残っている町ですね。」と大変喜んで帰りました。これだけ小さい町で江戸の文化に触れられるのは他に無いとも言われました。この松山地域独特の文化は大事にしなければならないと痛感しました。来年、クルーズ船が寄港しますが、是非この地域に観光ツアーで呼び込めないかと考えています。当地域で武者体験をしていただき、そのときに火縄銃も打つといった一連の流れを企画してみたいと考えています。このことについて、市の商工観光部門、観光物産協会との連携、ガイドの養成も含めてどのように考えているのかお伺いします。

柿崎補佐 かつて観光振興課にいたとき、クルーズ船「飛鳥」の対応をしましたが、来港の2年くらい前にはツアーコンダクターが来酒しており、こちらからツアーの提案を行うのではなく、既にパックツアーが組まれた状態になっていました。もし松山地域に来てほしいのであれば、ツアー会社にこちらから足を運ばないと実現は難しいと思われれます。ただ、「飛鳥」のときは、船会社の方から寄港するといった話がありましたが、今回は市長が直接船会社に出向いて酒田港への寄港を要請しました。それでもパックツアーの計画は出来上がっていると思われるので、その中に松山地域を入れ込んでいく働きかけを行う必要があると思われれます。

小松委員 にぎわい創出事業について、くらふとフェアに5千人余りの人出があったということですが、成功の要因は何であったと思いますか。こういうことから学ぶこともあると思いますのでお聞かせいただきたい。

支所長 くらふとフェアについては、昨年からやっていますが、そのときは20店舗くらいでしたが、好天に恵まれて人出がありました。今年は、初年度の経験を踏まえ、まず出店者を集めようということで、5月に実行委員の皆さんから案内チラシを配布いただいたり、フェイスブックなどを活用して宣伝したりしました。結果、今年も好天に恵まれ、売り上げもあって、出店者にも喜んでいただきました。フェアに参加した出店者に当地域の感想を聞いてみると、松山はロケーションが良いということでした。さらにフェアの相乗効果として周りの蕎麦屋、ラーメン屋さんも行列がつくほどのにぎわいになりました。来年度の課題として、スタッフの育成強化と地元の人たちとの連携を

図り本事業が定着できればと考えています。

小松委員 ロケーションが良いというのはすばらしいことです。普段は子どもでさえ遊んでないところですが、このロケーションを生かして、行事を組む、客を呼ぶ、そしてにぎわいを創出していけば如何でしょうか。雨が降れば城址館でのセッティングを考えればよいでしょう。芝生も擦り剥けて無くきれいなところなので、それを生かしていただきたいと思います。

日下部委員 1点目、眺海の森活用検討事業について、あまり大きな構想を持つのではなく、例えばレクリエーション施設とか子どもがちょっと遊べる施設などから手をつけては如何でしょうか。子どもを集めると親や祖父母がついてくると思います。自分の子が小さかったころはアスレチックがありました。眺海の森の景観を活用し、見晴らしの良いコスモスドーム周辺にコインを入れて動くカートを設置するのも良いと思います。また、冬場はアクションヒーローショーを行ってはどうでしょうか。昔がそれが見たいがために雪が降っていても外山に登ったこともありました。当地域の小さい子供は少なくなっても情報があれば周辺地域からも誘客できます。2点目、観光立地の看板について、国道345号線から入ってきたところに大きめのものがあればといった声も聞こえました。また、地域内の道路は一方通行であり、かつ、城下町ということもあって、地域外から来る人にとっては運転が難しく、一度中に入ってしまうとなかなか出られないと言われます。そこで地域内のいろいろな場所にわかりやすい看板を設置してほしいと思います。

建設産業課長 1点目の眺海の森の活用にあたり、施設整備の部分について、既存施設の中で使われていない、見た目も良くない施設もあります。そういうものは撤去し、それに代わるものとして必要なものは整備していきたい。そこに行かなければやれないもの、眺海の森にもお金を落としていただくものの考え方を活用検討会の話題の中にありました。各組織が連携をとっての取り組みができないかの情報発信をどこかまとめてできないかということでコーディネーターの養成を考えています。地域おこし協力隊の中にもそのようなことに興味をもっている方がいればそれを活用するのもひとつと考えます。2点目、看板の設置については予算のこともあり、大きく目立つものをすぐに作ることはできませんので、小さいものから順次作っていくということになると思います。また、一方通行に配慮したものをつくるように関係機関とも協議していきます。

後藤委員 1点目、眺海の森自体は年間10万人の入込客数をカウントしていますが、

今年の9月末時点で1万5千人の減となっています。特にさんさんの運営については課題が山積しています。NPO法人になってから客単価を上げ、経営事業体の委託先変更の中で体制が整わないうちに営業をせざるを得なかったという経過がありました。客単価を上げたことでファミリーとか夫婦とかが気軽にさんさんの食事を楽しむことができなくなりました。現在、宴会料理はかなり整ってくるなど、改善の兆しが見えていますが、一度離れた客をどのようにして取り戻すのかといった課題があります。さんさんは旧松山町時代に交流拠点に指定され、それが酒田市に引き継がれたわけですが、現在では「お客さんが入らなければ閉めます。」というのが市のスタンスであるように感じます。あくまで酒田市の施設の管理運営をうまく行うために指定管理させているということを担当課に認識していただきたい。旧酒田市では市街地の中で民業の圧迫はしない、いわゆる民間でやれる部分について、公は出ていかないというのがスタンスですが、旧3町の施設は民業では出てこないから公共としてやり始めたものであるという、そもそもの立ち位置に違いがあります。そのところをどういう形で理解を求めたらよいかというところに難しさがあります。指定管理者が変わった段階で中身が変わってきたことの情報発信、交通手段の無さ、女性のドライバーは冬に限らず眺海の森には上がりたがらない。よって子ども連れなんて来ない。冬期間については茗ヶ沢からの道路の方が上がりやすいが除雪をしない、せっかくの資源がありながら冬期間は生かされていない、そういった面を含め、指定管理団体であるNPO法人にこの施設の性格をどう理解してもらってどう経営していくのか、そのところのすり合わせをどのようにやっていくのかといった部分は行政の責任で行うべきものであると考えます。単に指定管理を出してしまったら終わりというわけではない。そのところを是非改善していただきたい。2点目として、地域観光物産支援事業の中で、歳中市がありますが、この事業のねらいが地域観光物産支援に合っているのか伺いたい。

建設産業課長

1点目のさんさんの入込客数の減について、料理が高額になってこれまで気軽に行けた人たちが行けなくなったことは聞いております。NPO法人は米沢牛をメインにやっていきたいといった提案をし、それを承認してきましたが、それだけでは理解が得られなくなってきました。所管課である観光振興課も経営状況の把握に努めています。料理については当初より改善されたと伺っているが、まだ十分ではないということも感じているので、先日開催された検討委員会の中でも改善できるものはするように話をしました。実際

に地域の皆さんが使えない施設であれば市でやる意味が無い。客単価を上げるというのも戦略のひとつですが、地域の皆さんが使いやすいような施設のあり方、ぐるぐるグリーンも今まで平日開いていたものが開いていないこともあり、これを含めて利用者が不便を感じることがないように改善していきたいと考えています。2点目の歳の市を観光物産事業の中で行うことについては、地域観光物産支援事業の中で負担しながらやっているものではありませんが、年度末事業の取り組みの一つとしてあげているものということでご理解をお願いします。

佐藤委員 大手門くらふとフェアには約80店舗が出店しました、また先日、城址館で2日間にわたって眺海の森音楽祭がありました、それぞれ出店者、出演者はどこに宿泊したのか伺います。

建設産業課長 10月1日、2日の両日に渡り開催されたプラスアンサンブルフェスティバルには20団体、約150名の出演がありましたが、その宿泊先については、松山管内のさんさん、観音湯、辰ヶ湯、佐々木元町長宅などです。今年は全国大会第30回記念大会でもありましたので、来ていただいた人には非常に喜んでいただきました。

支所長 くらふとフェアの出店者は移動慣れしている人たちなので、ほとんどの人が車中泊でした。

小田会長 くらふと展には個々にお店のファンがいて、追っかけを行っています。

小松委員 今度は民泊させましょう。

小田会長 他にありませんか。無いようですので、「(1)平成29年度地域づくり予算の概要について」についてはここで閉じます。次に「(2)その他」に入ります。何かありますか。

村山委員 先日、住民票をもらいに行った際、古封筒に「あののん」と「もしえのん」の張り紙がしてありました。この発想は自分が役場に奉職しているときには出てきませんでした。これは若い人の発想であると思います。この取り組みは酒田全域でやっているのか、松山地域限定なのかわかりませんが、行政が率先してリサイクルを行っているというすこぶる良い情報発信になります。しかもキャラクターを使っているという2つの面で些細なことだが素晴らしいことと感心させられました。地方にあっては税込、所得、年金ともに今後ともそんなに期待できません。節約は必ずしも貧乏のイメージではなく、生活の知恵です。それを民間からではなく、行政から発信していただけると

なれば地域住民も何かしら協力しようという意識が生まれます。とても素晴らしい取り組みであるとは感心しましたので発言させていただきました。

平 向 委 員 来年度の管内のハード事業の予算で課題となっているものがあれば、わかる範囲で教えていただきたい。

建設産業課長 土木、下水道関係の事業では、市道や側溝の整備事業を毎年継続して行っていますが、どの路線というところまでは申し上げられません。

柿 崎 補 佐 地見興屋小学校跡地をコミセンで使用するための工事が来年度に入ります。
小 田 会 長 関連して、小学校移転に伴い小学校にある財産で捨てられないものについて、教育委員会で保管するための施設は考えてないといった話を伺いましたので、各地域で保管場所を考えていただきたい。しかるのちに教育委員会に保管のための予算措置を要望していきたいと思います。

平 向 委 員 解体経費や施設整備経費を含め、ハコモノに対する来年度の予算措置は支所管内では無いといった理解でよろしいか。

柿 崎 補 佐 コミセンが移転になった場合、従来使用していたコミセンの建物は解体することになりますが具体的な時期については未定です。ただ、近日中に解体の設計等について教育委員会やまちづくり推進課と打合せを持つことになっています。

建設産業課長 除雪車の更新についての予算要求は行っていますが、どうなるかはわかりません。決定したらまたお知らせします。

後 藤 委 員 1点目、除雪車は稼働数からいっても年次的に更新していかなければならないことを財政担当課から理解してもらう必要があります。2点目、松くい虫対策について、被害にあったマツの伐採について、住宅地部分にあるものは私有財産ということで手をかけないというスタンスであると思いますが、景観地域を含め居住地域のアカマツが松くい虫にやられて、そのまま放置しておくとどんどん被害が広がっていく。このようにならないために伐採にかかる支援制度の創設など何らかの手立てを考えていく必要があると考えます。3点目、酒田市街地を含めて山地排水といった考え方がありません。松山地域は山が浅いため、雨が集中すると一気に水が出てくる。昭和50年代までは砂防に取り組んでいましたが、以降ずっと手をつけておりません。側溝整備は進んでいますが、山地排水の道路側溝に受ける部分が従前のままになっているので善処するよう、是非行政課題として取り組んでいただきたい。

支 所 長 2点目の松くい虫対策について、今のところ酒田市には民地にあるマツの伐採に係る支援制度はありません。被害が広がらないよう都度、関係課と対

応を検討していくことになります。

建設産業課長 3点目の道路側溝以外の側溝整備について、所管課がはっきりしていないこともあるので、機会を見て関係各課と協議を行っていきます。

小田会長 松くい対象の木が片町に2件ありますが、いずれも所有者に対して冬前に枝払いや伐採を依頼したいと考えています。

小野委員 1点目、クマ出没に係る小学生のバス運行について延長していただいたことに感謝します。2点目、八幡地区の医療体制について、報道によるとシャトルバスを4回出す、ぐるっとバスを増便する、午後9時まで診察する、とありますが、松山地域内においても住民が住みやすい医療体制を確立するようお願いしたい。3点目、庄内に地震が来る確立がかなり高いこと、かつて大地震が起きた場所との地形が似ていることを踏まえて、防災に対する啓もう活動をお願いしたい。

支所長 2点目の医療体制については、平成30年4月1日から月曜日から金曜日まで常勤医師が配置されることになっています。まずは診療所への無料バスを確保したい。拠点づくりに関する具体的な経過については次回の協議会の際に提案させていただきます。3点目について、災害は忘れたことにやってくるので、日頃からの防災に対する意識付けが必要であると考えます。

小田会長 他にありますか。無いようですので、これを持ちまして議事を終了いたします。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

5、その他

特になし

6. 閉会